

休暇日数の少ない日本人、「休み中は完全オフ」を希望、オン・オフの切り替えを実践中！？
--トリップアドバイザー 有給休暇と休暇中の仕事に関する国際比較調査を発表--

世界最大の旅行口コミサイト*「TripAdvisor®」の日本法人であるトリップアドバイザー株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役:原田静織、<http://www.tripadvisor.jp/>)は、日本、アメリカ、オーストラリア、ブラジル、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、スペイン、イギリスの計10カ国を対象に、有給休暇と休暇中の仕事に関する国際比較調査を実施しました。

● **日本の有給休暇取得日数はワースト1。休暇を取りにくい雰囲気蔓延**

国際社会から「日本人は働きすぎ」と指摘されることがあるように、日本の有職者の平均有給休暇日数は、対象10カ国中ワースト2の年間19日でアメリカ(18日)に次いで少なく、取得予定の有給休暇日数に至っては、ワースト1の11日であることがわかりました。昨年は有給休暇を充分に取得できなかったと回答した日本人有職者にその理由を聞いたところ、「仕事が忙しかった(61.4%)」に次いで多かったのは、「休める雰囲気ではなかった(32.5%)」、「同僚に気がつかった(21.0%)」、「なんとなく休まないうちに年を越してしまった(15.0%)」の順でした。仕事が忙しいのはもとより、休暇を取りにくい雰囲気がまだまだ日本には蔓延しているようです。

● **少ない休暇だからこそ？休暇中は仕事から完全に切り離されたい日本人**

その一方、日本人は「できれば休暇中は全く仕事のことは考えたくないし、仕事から完全に切り離されたい」と考えている人の割合が10カ国中最も多く(65.2%)、仕事のメールや電話など「どれも対応しない(休暇中は全く仕事しない)」と答えた人は31.9%と、ブラジル(35.9%)に次いで多い結果となりました。これは、アメリカ、オーストラリア、フランス、イタリア、ロシア、イギリスの6カ国で「休暇中はできれば仕事のことを考えたくないが、少しの対応なら問題ない」と回答した人の割合が5割を超えているのと対照的です。休みが少ない分、オンとオフをしっかりと分け、休みの時は休みに集中しようとしている日本人の姿が浮かび上がったと言えます。休暇中に仕事をする理由としては、すべての国で「自分が対応しなければならぬ緊急の案件があるかもしれないから」という回答が最も多く、ビジネスパーソンとしての責任感も各国共通であることもわかりました。

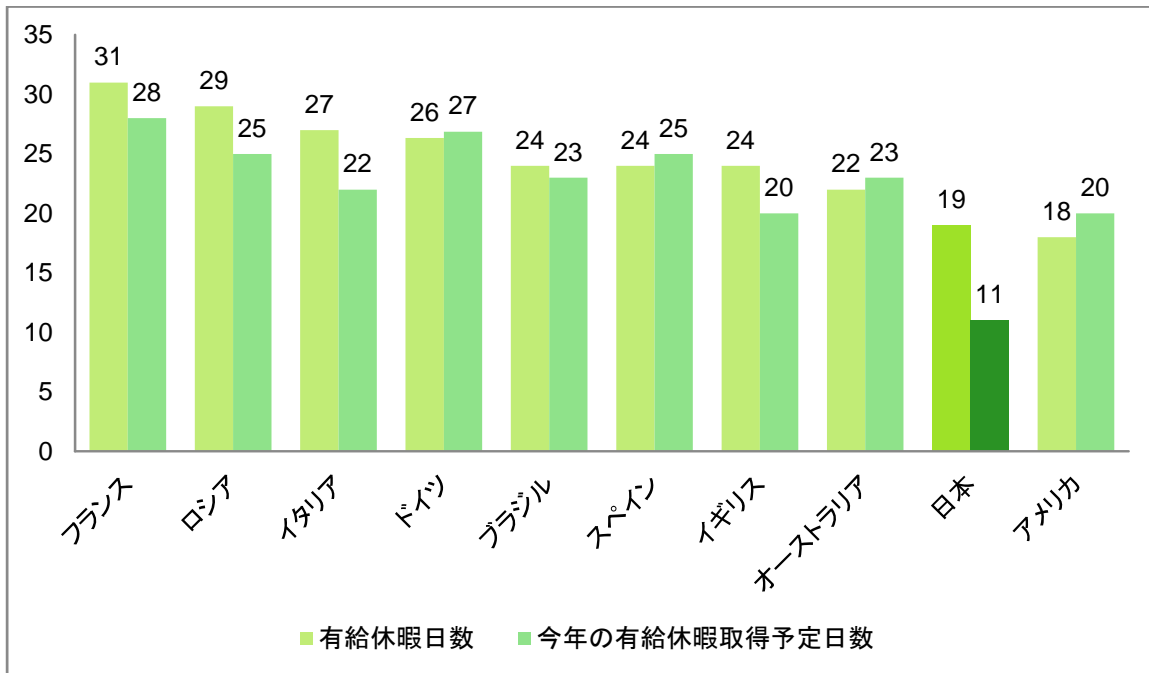
トリップアドバイザー株式会社 代表取締役の原田静織は、以下のようにコメントしています。

「日本人は有給休暇取得日数が少ないと言われてはいますが、今回の調査でもそれが顕著に現れました。仕事量が多いのはもとより、まだまだ職場内では休暇を取りにくい雰囲気があるようです。短い期間だからこそオンとオフを切り替えて休暇の間はメリハリを付けたいようにも思われます。休暇中に仕事は避けたいものですが、上手にスマートフォンやタブレットを駆使して、より長い休暇を取得して旅行などに出る方法もあるかもしれません。」

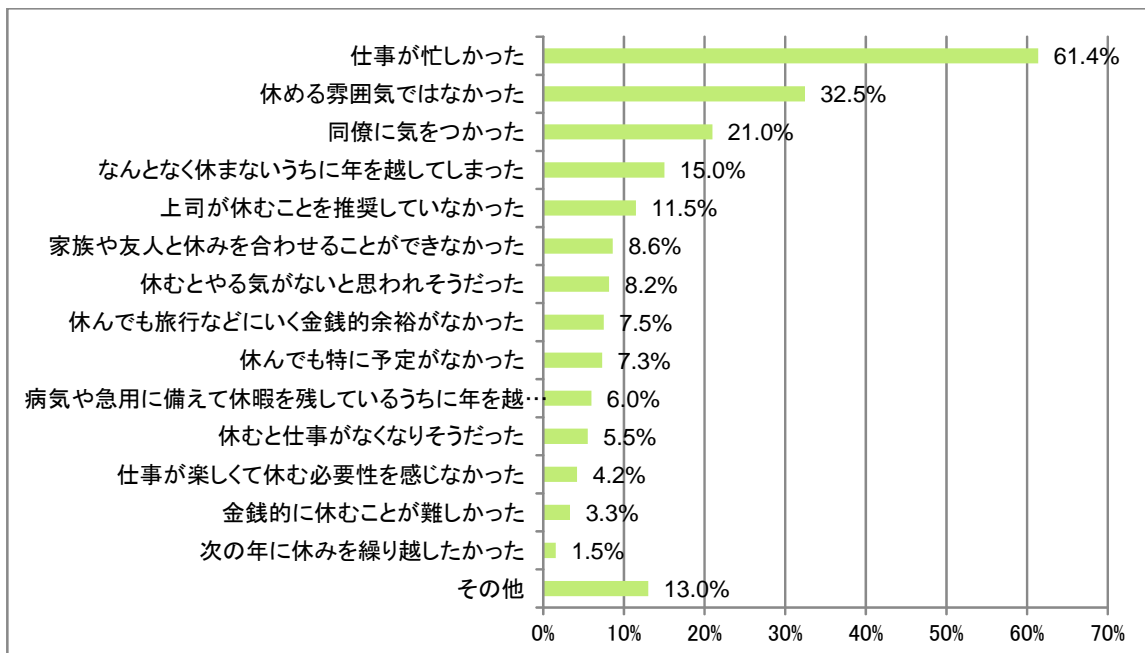
【調査概要】

- **調査方法** 日本、アメリカ、オーストラリア、ブラジル、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、スペイン、イギリスの計10カ国の「TripAdvisor®」ユーザーに対してインターネット調査を実施。
そのうち、有職者(正社員、非正社員、自営業)の回答を集計。
- **回答者数** 日本793名、アメリカ2,159名、オーストラリア1,157名、ブラジル842名、フランス971名、ドイツ589名、イタリア3,570名、ロシア637名、スペイン1,116名、イギリス4,313名の合計16,147名
- **実施日時** 2014年8月9日~8月14日

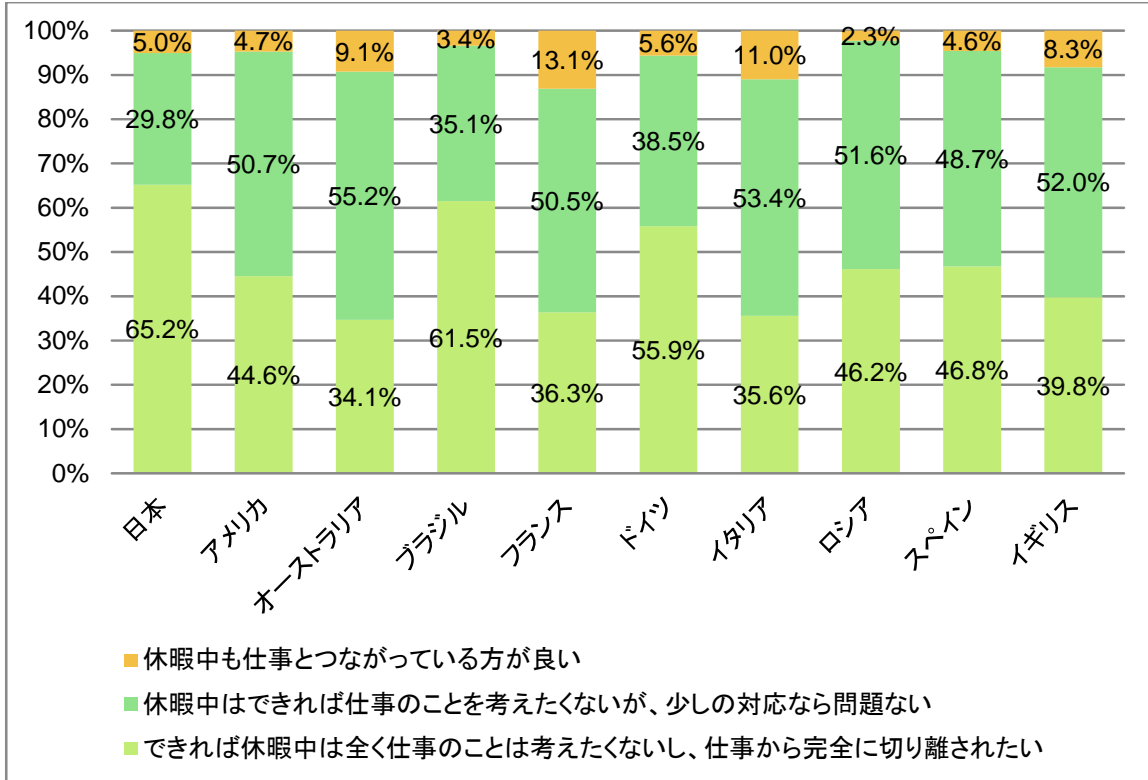
- 付与されている有給休暇日数(左)と、今年取得を予定している有給休暇日数(右)
(左側から有給休暇日数の多い国順)



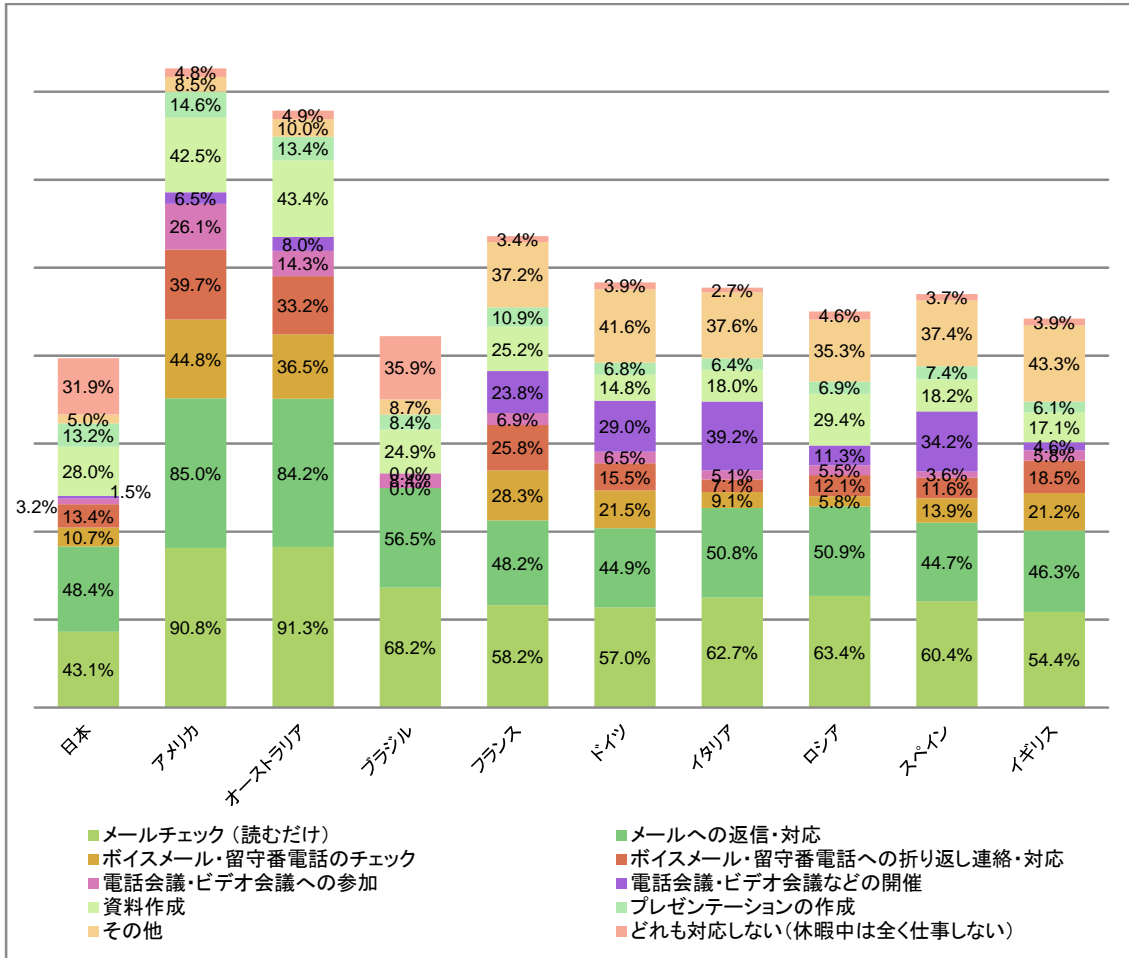
- 休暇を十分に取得できない理由 (「昨年の休暇を十分に取得できなかった」と回答した日本人のみ、複数回答、n=453)



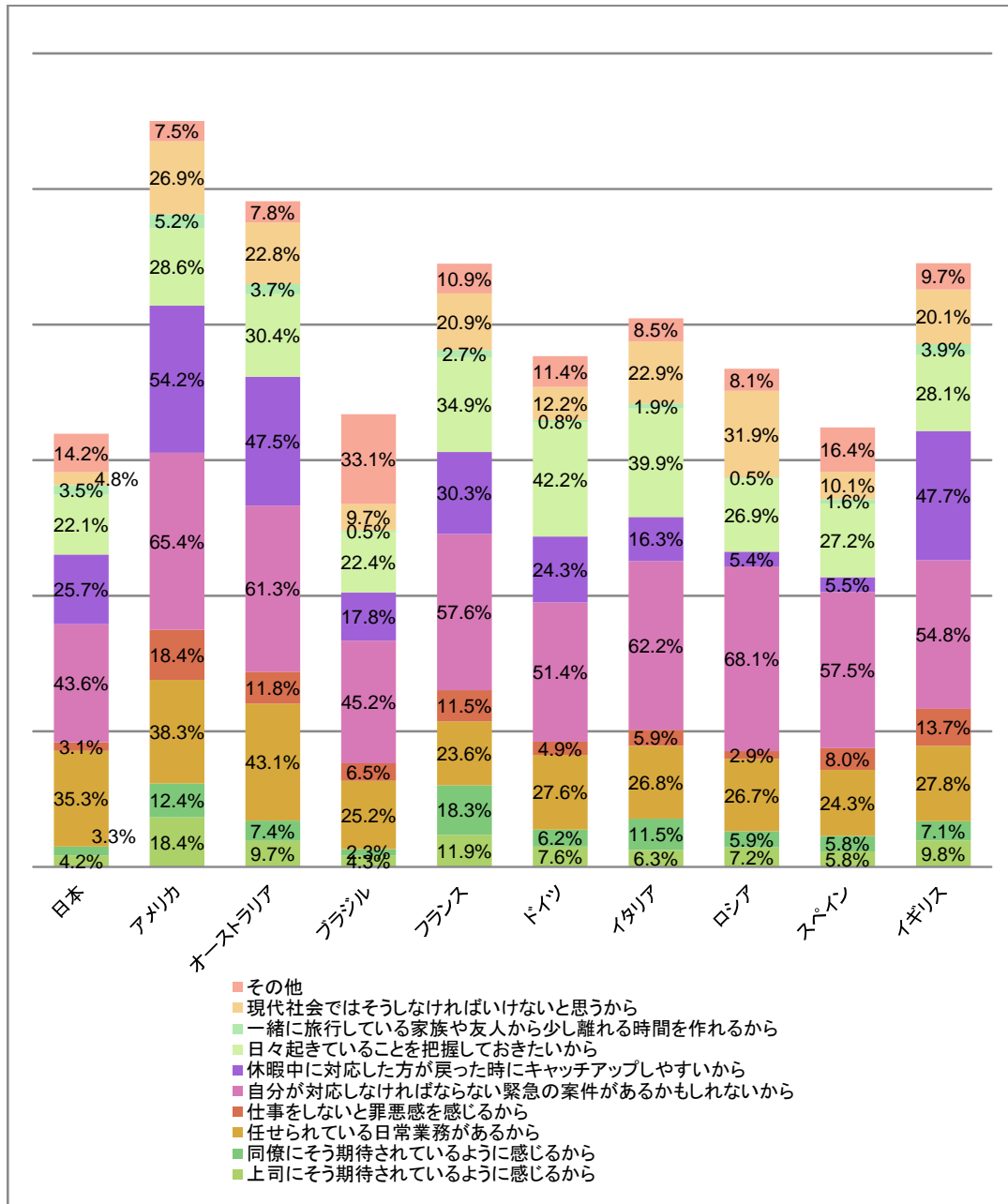
● 休暇中に仕事をする事について、どう感じるか（単一回答）



● 休暇中にする仕事内容（複数回答）



● 休暇中に仕事をする理由（複数回答）



トリップアドバイザーとは:

トリップアドバイザー(本社:米国マサチューセッツ州ニュートン、NASDAQ:TRIP)は、旅行者が最高の旅行を計画し実行するための世界最大*の旅行サイト。旅行者の実体験に基づくアドバイスと、幅広い旅行の選択肢および予約ツールとシームレスにつながったプランニング機能を提供しています。世界最大の旅行者のコミュニティとして、世界44カ国でサイトを展開し、世界400万軒を超えるホテル、レストラン、観光スポットに対して1億7000万件以上の口コミ情報を掲載しています(中国はdaodao.comとして運営)。月間ユニークユーザー数は約2億8000万人**。TripAdvisor, Inc. は、トリップアドバイザーブランドサイトのほか以下の24の旅行関連サイトを運営しています: www.airfarewatchdog.com, www.bookingbuddy.com, www.cruisecritic.com, www.everytrail.com, www.familyvacationcritic.com, www.flipkey.com, www.gateguru.com, www.holidaylettings.co.uk, www.holidaywatchdog.com, www.independenttraveler.com, www.jetsetter.com, www.lafourchette.com, www.niumba.com, www.onetime.com, www.oyster.com, www.seatguru.com, www.smartertravel.com, www.tingo.com, www.travelpod.com, www.tripbod.com, www.vacationhomerentals.com, www.viator.com, www.virtualtourist.com, www.kuxun.cn

*出典: comScore Media Metrix for TripAdvisor Sites, worldwide 2014年第1四半期

**出典: Google Analytics, worldwide data 2014年第2四半期 (daodao.comへのトラフィック除く)

お問合せ先

<報道機関の方のお問い合わせ先>

トリップアドバイザー広報事務局(オズマピーアール内) 担当 磯崎、松林、長田
Tel: 03-4531-0214 または 080-9368-5457 / E-mail: tripadvisor@ozma.co.jp

<報道機関およびその他のお問い合わせ先>

トリップアドバイザー株式会社 広報担当 東(ヒガシ)
Tel: 03-6416-5275 または 090-7251-6384 / E-mail: mhigashi@tripadvisor.com